

## 岩手県立病院等の経営計画《2014-2018》(最終案)における主な修正内容について

	頁	中間案 (H25.9.9付け各委員あて送付)	最終案	修正理由
1	p39	VI二次保健医療圏を基本とした各病院の役割分担と連携 2②診療科 ○高度・専門医療の提供等の観点で、二次保健医療圏内で対応できない診療科については、二次保健医療圏を越える範囲での連携も考慮します。	○高度・専門医療の提供等の観点で、二次保健医療圏内で対応できない診療科については、二次保健医療圏を越える範囲での連携を強化します。	文言修正
2	p40	VII実施計画 1(1)県立病院群の一体的・効率的な運営 ●圏域の基幹病院に医師・コメディカル等を重点的に配置するとともに、圏域内における効率的な職員の配置、支援体制の構築等、一体的な運営に向けた取組を強化します。	●圏域の基幹病院に医師・コメディカル等を重点的に配置するとともに、圏域内での協議による効率的な職員の配置、支援体制の構築等、一体的な運営に向けた取組を強化します。	文言修正 〔圏域内での協議により、効率的な職員配置や支援体制の構築に取り組むことを明記〕
3	p40	1(1)県立病院群の一体的・効率的な運営 ●圏域内で対応できない診療科や不足する人的資源については、横軸連携等の圏域を越えた連携を進めます。	●圏域内で対応できない診療科や不足する人的資源については、横軸連携等の圏域を越えた連携強化により補完します。	文言修正
4	p42	1(3)他の医療機関・介護施設等との役割分担と連携 ●地域医療福祉連携の効果が十分に発揮できるよう、基幹病院を中心とした医療社会事業士、退院調整に携わる看護師の配置による体制の構築等、介護・福祉との連携強化に努めます。	●地域医療福祉連携の効果が十分に発揮できるよう、基幹病院を中心とした医療社会事業士、退院調整に携わる看護師の配置及び事務職員の増員による体制の構築等、介護・福祉との連携強化を進めます。	文言追加 〔介護・福祉との地域医療福祉連携を強化するため、地域連携部門の事務職員の増員を計画していることを明記〕
5	p43	2(1)①医療の質の確保 ●理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の増員により、早期リハビリテーションや休日リハビリテーションへの対応等、リハビリテーション提供体制を強化します。	●理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の増員により、早期リハビリテーションや365日リハビリテーションへの対応等、リハビリテーション提供体制を強化します。	文言修正 〔365日リハビリテーションの実施に向けて体制を強化することを明記〕
6	p43	2(1)①医療の質の確保 ●入院患者に対する医療の質の向上や医療安全の確保を図るため、収支見込、薬剤師数、医師の充足率等を考慮しながら、病棟薬剤業務の計画的な導入を図ります。	●入院患者に対する医療の質の向上や医療安全の確保を図るため、収支見込、薬剤師数、医師の充足率等を考慮しながら、基幹病院(全病棟)への病棟薬剤業務の計画的な導入を図ります。	文言追加 〔基幹病院全病棟での病棟薬剤業務の実施に向けて取り組むことを明記〕

	頁	中間案 (H25.9.9付け各委員あて送付)	最終案	修正理由																																			
7	p43	2(1)①医療の質の確保	●診療情報管理士の活用を図りながら、診療録の管理体制を強化します。(追加)	文言追加 〔診療情報管理士の増員を計画していること及び強化する内容を明記〕																																			
8	p46	3(1)医師確保に向けた取組 ●地域別・診療科別の偏在の緩和 ・地域病院で勤務する総合医を養成するため、研修プログラムの見直しを進めます。	・地域病院で勤務する総合診療医を養成するため、研修プログラムの見直しを進めます。	文言修正																																			
9	p50	4(3)職員の適正配置 医療の質の向上を図るため、損益の状況を見ながら、職員の増員により必要な部門・部署に対する重点配置を行うこととし、以下の方向性により職員配置を進めます。	4(3)職員の適正配置 医療の質の向上や医療安全の確保を図るため、損益の状況を見ながら、職員の増員により必要な部門・部署に対する重点配置を行うこととし、以下の方向性により職員配置を進めます。	文言追加																																			
10	p50	4(3)職員の適正配置 ●医師及び看護師の負担軽減、良質な医療の提供及び医療の安全を確保するため、臨床工学技士・臨床心理士等の医療技術部門の充実強化に努めます。	●医師及び看護師の負担軽減、良質な医療の提供及び医療の安全を確保するため、薬剤師・臨床工学技士・臨床心理士等の医療技術部門の充実強化に努めます。	文言追加																																			
11	p51	5(1)事業運営体制 ●経営企画機能の強化 ・診療情報管理士の活用を図りながら、経営分析を進めるための体制等を強化します。	5(1)事業運営体制 ●経営企画機能の強化 ・診療情報管理士の活用を図りながら、経営分析、医療統計、診療録管理をより効率的に行うための体制等を強化します。	文言追加 〔医療統計や診療録管理を効率的に実施することを明記〕																																			
12	p52	5(2)①収益の確保 ●医事業務指導や精度管理調査による請求漏れ・誤りの防止、担当者会議等による入院基本料等加算、各種指導料等の算定強化など、請求精度の向上による収益確保に継続的に取り組みます。	●医事業務指導や精度管理調査による請求漏れ・誤りの防止、担当者会議等による入院基本料等加算、各種指導料等の算定強化、査定減対策など、請求精度の向上による収益確保に継続的に取り組みます。	文言追加 〔収益確保のため、査定減対策に取り組むことを明記〕																																			
13	p54	5(2)②費用の効率的執行 《実施計画における目標》 <table border="1" data-bbox="208 1066 913 1201"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度 (見込)</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調理業務を導入している病院数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>		25年度 (見込)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	調理業務を導入している病院数	2	3	5	8	9	10	5(2)②費用の効率的執行 《実施計画における目標》 <table border="1" data-bbox="936 1066 1641 1265"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度 (見込)</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品数量割合(%)</td> <td>53.6</td> <td>55.3</td> <td>57.0</td> <td>58.7</td> <td>60.4</td> <td>62.1</td> </tr> <tr> <td>調理業務を導入している病院数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>		25年度 (見込)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	後発医薬品数量割合(%)	53.6	55.3	57.0	58.7	60.4	62.1	調理業務を導入している病院数	2	3	5	8	9	10	目標値追加 〔後発医薬品の使用促進に係る国の目標数値の算定方法の変更に伴い、新たに実績見込・目標値を算定〕
	25年度 (見込)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																	
調理業務を導入している病院数	2	3	5	8	9	10																																	
	25年度 (見込)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																	
後発医薬品数量割合(%)	53.6	55.3	57.0	58.7	60.4	62.1																																	
調理業務を導入している病院数	2	3	5	8	9	10																																	
14	p58	別表1「各病院・地域診療センターの役割・機能・特色等」中「二次保健医療圏の状況」(盛岡) ○圏域内に大学病院・公的病院・民間病院の計39病院が集中し、県全体の医療提供の中心的な機能を担っている。	○圏域内に大学病院・公的病院・民間病院の計39病院が集中し、県全体の医療提供の中心的な機能を担っており、また、岩手医科大学付属病院の矢巾キャンパスへの移転が予定されている。	文言追加 〔盛岡保健医療圏の状況の変化を想定して記載〕																																			